







## 令和8年度 京都市芸術文化協会賞 受賞者

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 受賞者名  | 井上 佳子 (いのうえ よしこ)  |  |
| 住 所   | 京都市北区   |   |
| 分 野   | 洋舞  |   |
| 所 属   | いのうえよしこ<br>井上佳子バレエスクール  |   |
| 経歴と業績 | <p>上島君子振付「新世界」(1969年)で主役に抜擢される。チャイコフスキー記念東京バレエ団入団(1971年)・退団後、チャイコフスキー記念京都バレエ団のプリマバレリーナとして、「白鳥の湖」「 Coppélia」など主演作品は多数。</p> <p>指導者として、振付や演出を行うとともに、後進の育成に取り組んでおり、自校にとどまらず、勉強会を通じて地域全体のレベル向上にも尽力されている。主な受賞歴に、NAMUE クラシックバレエコンクール最優秀指導者賞(2016年)、びわ湖・洋舞コンクール最優秀指導者賞(2023年)、NBA バレエコンクール最優秀指導者賞(2024年・2025年)、マーティプレバレエコンクール最優秀指導者賞(2024年)、ジャパンバレエコンペティション滋賀最優秀指導者賞を受賞。</p> <p>また、全京都洋舞協議会主催の公演において実行委員を多数務めるなど、舞台芸術の発展に長く寄与している。</p>            |   |
| 主な活動等 | <p>1952年 友松・上島バレエ研究所入所</p> <p>1966年 友松・上島バレエ研究所助教</p> <p>1970年 チャイコフスキー記念東京バレエ団入団</p> <p>1973年 チャイコフスキー記念東京バレエ団退団後帰京、チャイコフスキー記念京都バレエ団入団</p> <p>1975年 井上佳子バレエスクール開所</p> <p>1988年 チャイコフスキー記念京都バレエ団退団</p> <p>2010年 京都会館50周年「くるみ割り人形」全幕 振付担当</p> <p>2016年 ロームシアター京都リニューアルオープン記念<br/>深川秀夫振付「白鳥の湖」全幕 ミストレス</p> <p>2019年 全京都洋舞協議会60周年記念「Coppélia」 振付担当</p> <p>2024年 全京都洋舞協議会65周年記念「ラ・シルフィード」 ミストレス</p> <p>全京都洋舞協議会副会長(2012~2015年、2018~2021年)</p> |   |
| 活動の様子 |  <p>50周年記念/第47回発表会より(2025年7月/ロームシアター京都サウスホール) 撮影:テス大阪</p>   |   |

令和8年度 京都市芸術文化協会新人賞 受賞者

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 受賞者名  | 若柳 弥天 (わかやぎ びてん)  |  |
| 住 所   | 京都市上京区  |   |
| 分 野   | 邦舞  |   |
| 所 属   | わかやぎりゅうぶようきょうしつ<br>若柳流舞踊教室かなめ会  |   |
| 経歴と業績 | <p>日本舞踊教室『空の会』主宰。体験教室やワークショップで講師を務め、日本舞踊の普及にも力を注いでいる。2015年から京都芸術センター「トラディショナル・シアター・トレーニング」にて講師アシスタントを務めるほか、2020年より京都光華高等学校で伝統文化の非常勤講師として後進の育成にも携わる。</p> <p>受賞歴として、第2回若菜会「たけくらべ」若菜会優秀賞(1997年)、第6回DCOS全国大会「たけくらべ」準グランプリ(1999年)、第54回なにわ芸術祭 新進舞踊家競演会「まかしよ」新人賞(2017年)などがある。</p> <p>出演作には、かなめ会「相生獅子」(2007年)、「鷺娘」(2011年)、「娘道成寺」(2013年)、「文売り」(2025年)など(全、先斗町歌舞練場)、日本舞踊協会新作公演～裁 SAI～『カルメン 2018』(2018年)、～祭 SAI～『夢追う子』(2021年)、～最 SAI～『舞姫』(2024年)(全、国立劇場 小劇場)などの日本舞踊公演のほか、「八月南座超歌舞伎」(2019年・南座)、「九月南座超歌舞伎」(2021年・南座)などの歌舞伎公演にも出演。</p> <p>その他、振付・協力として「音楽を着る」(京都芸術センター)、能法劇団公演(大江能楽堂)など、日本舞踊公演にとどまらず、多方面で活動を展開している。</p> |   |
| 主な活動等 | <p>1986年 京都府生まれ</p> <p>1989年 若柳金彌日本舞踊教室入門</p> <p>1991年 かなめ会「七夕」初舞台</p> <p>2006年 直派(じきは)若柳流寿慶会から若柳弥天の名を許される</p> <p>2012年 直派若柳流寿慶会から師範名取を許される</p> <p>2014年 若柳弥生に師事。若柳流に移籍の為、若柳流名取となる</p> <p>2019年 日本舞踊教室『空の会』開催(以後、計4回開催)</p> <p>2023年 若柳流師範となる</p>   |   |
| 活動の様子 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>[左] 長唄「八島官女」(かなめ会/2025年/先斗町歌舞練場)</p> <p>[右] 清元「文売り」(かなめ会/2025年/先斗町歌舞練場)</p>  |   |

令和8年度 京都市芸術文化協会新人賞 受賞者

|       |  |   |
|-------|--|---|
| 受賞者名  | 竹内 昌二 (たけうち しょうじ)  |  |
| 住 所   | 京都市左京区   |   |
| 分 野   | 絵画   |   |
| 所 属   | とうきゅうしゃ<br>東丘社   |   |
| 経歴と業績 | <p>風景を主題とした作品を中心に制作する日本画家。2012年に京展および日展へ初入選して以降、京展市長賞（2014年）、新日春展新日春賞（2018年、2022年）、改組新日展特選（2018年、2023年）、京都花鳥館奨学金最優秀賞（2022年）、京都日本画家協会創立80周年記念展優秀賞（2023年）など、多数の受賞歴を重ねている。</p> <p>主なグループ展に、「日本画グループー聲ー」（2022年／同時代ギャラリー・京都）、「新京都 古都から千年先へ」（2023年／ギャラリーためなが京都・京都）、「七彩展（2024年／銀座中央ギャラリー・東京）」、「NOUVEL HORIZON JAPAN」（2024年／ギャラリーためながパリ・フランス）、「Emerging Visions」（2024年／ギャラリーためなが・東京）などがある。</p> <p>個展としては、「竹内昌二日本画展ー静寂の中でー」（2025年／ESPACE KYOTO 大丸京都店・京都）、「竹内昌二日本画展ー移ろいのかたちー」（2026年/あべのハルカス近鉄百貨店・大阪）を開催している。</p> <p>日展準会員／日春会会員／京都日本画家協会会員</p> |   |
| 主な活動等 | <p>1989年 京都府生まれ</p> <p>2012年 金沢美術工芸大学日本画専攻 卒業</p> <p>2014年 金沢美術工芸大学大学院修士課程絵画専攻日本画コース修了</p>   |   |
| 活動の様子 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〔左〕「樹映」（麻紙・岩絵具/72.7×91.0 cm/2026年）</p> <p>〔右〕「舟屋」（麻紙・岩絵具、金箔、銀箔、黒箔/181.8×227.3 cm/2023年）*日展特選作品</p>  |   |